

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 3 月 8 日 (2007.3.8)

【公開番号】特開 2001-209105 (P2001-209105A)

【公開日】平成 13 年 8 月 3 日 (2001.8.3)

【出願番号】特願 2000-14425 (P2000-14425)

【国際特許分類】

G 0 3 B 17/17 (2006.01)

G 0 2 B 17/08 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 17/17

G 0 2 B 17/08 Z

H 0 4 N 5/225 D

H 0 4 N 5/232 A

G 0 6 T 1/00 4 2 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 17 日 (2007.1.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 結像光学系および固体撮像板を含む画像入力部を有し、前記結像光学系に複数の曲率を有する反射面を含む光学素子を少なくとも 1 つ用いた撮像装置であって

前記光学素子は、光の入射方向と射出方向とが異なり、内部で 1 次結像させる光学素子であり、

前記固体撮像板を前記光の射出方向に移動させることによりフォーカシングを行うことを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】 光量絞り部材を前記結像光学系の入射面付近に配置したことを特徴とする請求項 1 記載の撮像装置。

【請求項 3】 前記光量絞り部材として数種類の絞り径を有する部材を用いて該部材を平行移動または回転させることにより光量絞り径を変化させることを特徴とする請求項 2 記載の撮像装置。

【請求項 4】 前記画像入力部を任意の方向へ回動、平行移動させることにより撮影画界を変更可能としたことを特徴とする請求項 1 ないし 3 何れか記載の撮像装置。

【請求項 5】 前記光学素子を光の入射方向に移動させることによりフォーカシングを行うことを特徴とする請求項 1 ないし 4 の何れか記載の撮像装置。

【請求項 6】 撮影距離モードの変更を切り替え部材を用いることにより行うことを特徴とする請求項 1 ないし 5 何れか記載の撮像装置。

【請求項 7】 前記光学素子を複数用いることにより変倍を行うことを特徴とする請求項 1 ないし 5 何れか記載の撮像装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、本発明では、画像形成装置を次の（１）ないし（７）のとおりに構成する。

（１）結像光学系および固体撮像板を含む画像入力部を有し、前記結像光学系に複数の曲率を有する反射面を含む光学素子を少なくとも１つ用いた撮像装置であって、

前記光学素子は、光の入射方向と射出方向とが異なり、内部で１次結像させる光学素子であり、

前記固体撮像板を前記光の射出方向に移動させることによりフォーカシングを行う撮像装置。

（２）光量絞り部材を前記結像光学系の入射面付近に配置した前記（１）記載の撮像装置。

（３）前記光量絞り部材として数種類の絞り径を有する部材を用いて該部材を平行移動または回転させることにより光量絞り径を変化させる前記（２）記載の撮像装置。

（４）前記画像入力部を任意の方向へ回動、平行移動させることにより撮影画界を変更可能とした前記（１）ないし（３）何れか記載の撮像装置。

（５）前記光学素子を光の入射方向に移動させることによりフォーカシングを行う前記（１）ないし（４）の何れか記載の撮像装置。

（６）撮影距離モードの変更を切り替え部材を用いることにより行う前記（１）ないし（５）何れか記載の撮像装置。

（７）前記光学素子を複数用いることにより変倍を行う前記（１）ないし（５）何れか記載の撮像装置。

【手続補正３】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正４】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正５】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正６】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正７】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 2

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】